

—日本初の国立公園として80年を迎える雲仙—

雲仙の大自然が創り出す 冬の芸術「花ぼうろ」



寄稿 雲仙温泉観光協会 会長 石田 総一

はじめに

木々が氷の結晶に覆われる雲仙の冬。幹や枝に凍り付いてできた霧氷は、その姿から地元では「花ぼうろ」と呼ばれています。花ぼうろはさまざまな気象条件が整って初めて見ることができる貴重な自然現象で、春のつつじ、秋のもみじと並ぶ雲仙の冬の風物詩です。この時期、ここでしか出会えないとっておきの絶景を見に出かけませんか。





雄大な自然の 造形美

雲仙には、5つの国指定天然記念物が存在します。その中の1つ普賢岳紅葉樹林は、120種類を超える樹々からなり、見事な紅葉が10月下旬から11月中旬にかけて見頃を迎えます。また、12月以降、冬の間に時折見られる霧氷は「花ぼうろ」と呼ばれ、まるで天使が白い衣を羽織ったように、冬枯れの景色を真っ白な山並に変身させます。

四季折々に多彩な表情を見せる雲仙は、その美しくも雄大な自然の姿から、1927年（昭和2年）に日本新八景（※1）山岳部門に選出。さらに1934年（昭和9年）には、我が国初の国立公園に指定されました。雲仙が国立公園に指定され、来年で80周年を迎えます。

※1 日本新八景…1927年に、一般からの投票（約9,300万通）を基に選定された日本を代表する8つの景勝地（山岳、溪谷、瀑布、温泉、湖沼、河川、海岸、平原の8部門）。

四季折々に、表情を豊かに変化させる雲仙



秋

秋の普賢岳、妙見岳一带はまさに紅葉の海

燃えるような鮮やかな紅葉が山々を染め尽くし、全てが清らかに澄みわたります。10月下旬、山頂から始まって、徐々に全山を染め上げて11月中旬まで見ることができます。



夏

涼やかな避暑地として有名になった

雲仙は高地のため気温が低く、8月の平均気温は21～22度と北海道の札幌と同じくらいの涼しさで、緑の息吹にあたり一帯が包まれます。



春

春を彩るミヤマキリシマ

山は「ウンゼンツツジ」とも呼ばれるピンクのミヤマキリシマで見事に染めつくされていき、雲仙は彩り豊かな季節を迎えます。温泉街周辺では、4月下旬ごろから咲き始め、仁田峠では5月中旬ごろが見ごろになります。

温泉と書いてうんぜんと読む

情緒漂う雲仙の温泉街

雲仙は、「温泉」と書いて「うんぜん」と読まれていた歴史を持ちます。国立公園の指定を受けた際に、雲仙と地名を改めました。

国立公園として自然が大切に守られてきた雲仙は、四季折々の美観に包まれ、山裾

の雲仙温泉は伝統的な名湯の地です。明治期には外国人の避暑地として栄えました。

今も旅館街には昔ながらの温泉情緒が漂い、訪れる人を湯けむりのような温かさでお迎えしています。



ゼロ泊からでも 楽しめる雲仙温泉

気軽に立ち寄れる共同浴場、足湯、指湯のほか、各ホテル・旅館にはそれぞれに趣向をこらした露天風呂や展望風呂などがあり、宿泊はもちろんのこと、立ち寄り湯としてもご利用いただけます。

雲仙温泉の効能については、硫黄、つまり強い酸性なので殺菌効果があります。その他、湿疹やしもやけ、切傷などの皮膚病全般にも効果があります。また、美肌効果、慢性のリウマチ、糖尿病、神経痛、筋肉痛、関節痛、疲労回復、健康増進にも適していると言われています。

雲仙温泉のうんちく

● 温泉の色

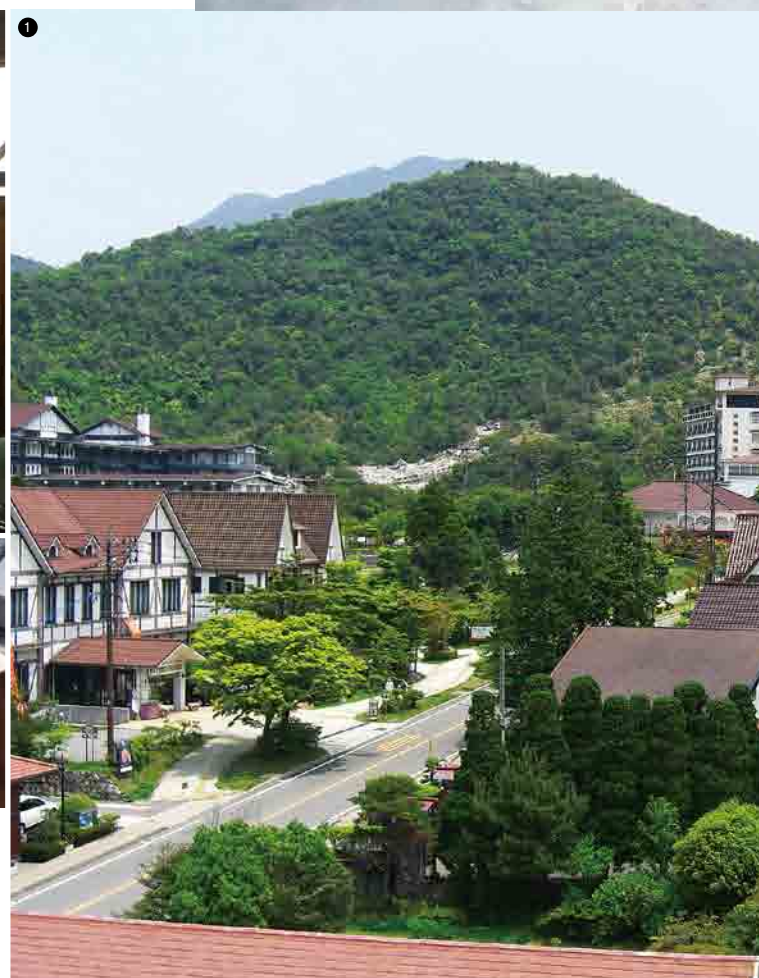
旅館によって温泉が透明だったり、白く濁っていたりします。本来硫黄泉は透明ですが、地獄からの配管でお湯を引く際に、硫黄成分を含んだ鉱泥が流れ込むと白く濁ります。どちらも効能は変わりません。

● 朝は熱いお湯、夜はぬるめのお湯に。

熱いお湯は交換神経に働きかけ、身体を活動状態にします。また、ぬるめのお湯は副交換神経に作用して体をリラックスさせます。体が疲れているときはぬるめのお湯に入り、朝の活動前には熱いお湯に入ることをお勧めします。



① 雲仙温泉街の様子 ② 気軽に立ち寄れる温泉
③ 地獄の蒸気を使って蒸し上げる雲仙名物「温泉たまご」 ④ 外国人避暑地をイメージしたラベルが雲仙のお土産に最適「温泉（うんぜん）レモネード」



明治時代、欧米人からも愛された雲仙



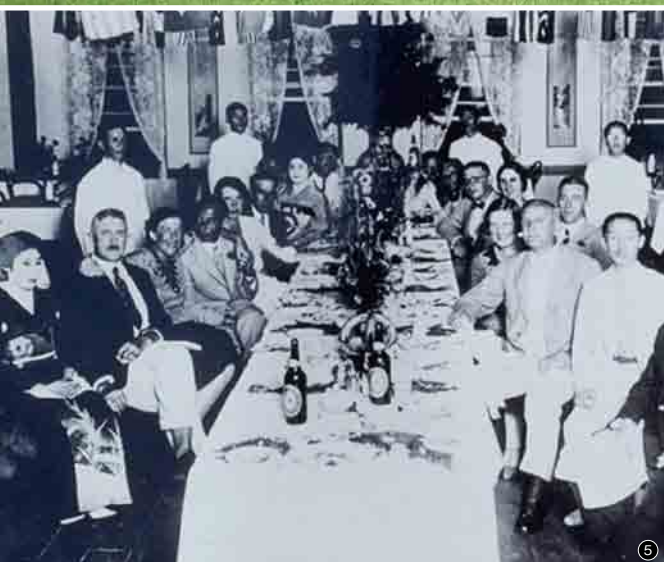
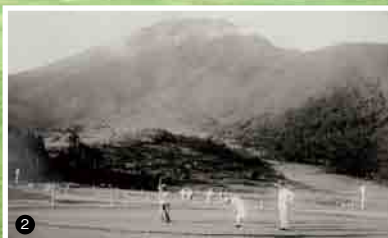
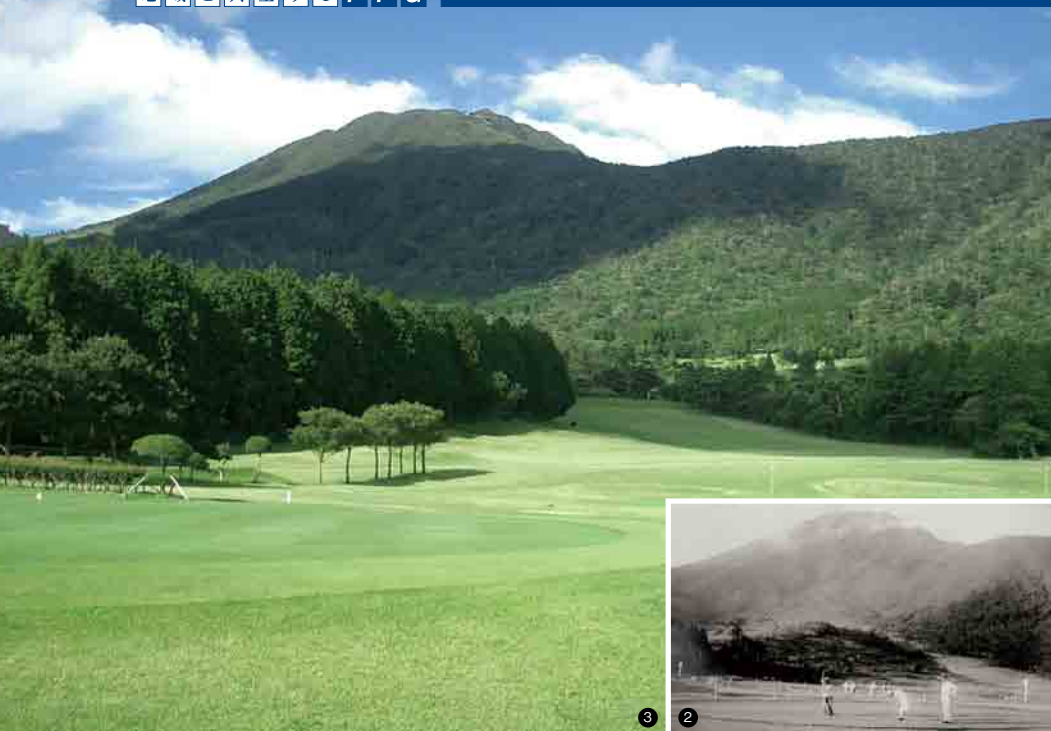
1920年代の様子。テニス大会後に、雲仙のホテル前で記念撮影。

西洋の旅館が 立ち並ぶ 人気リゾート地

明治・大正期、長崎と上海を結ぶ航路により、雲仙と上海租界(※2)の往来が盛んに行われ、雲仙は欧米人から避暑地として人気を集めていました。そういう文化的な土壌を背景に、西洋風の旅館が建ち並び、1913年(大正2年)には、我が国初のパブリックゴルフ場も誕生しました。

昭和初期には、パール・バック(アメリカ人初のノーベル文学受賞者)やヘレン・ケラー(社会福祉活動家)も休養を兼ねて雲仙旅行を楽しんでいます。当時、年間3万人の外国人観光客が雲仙を訪れ、夜はダンスパーティー等が開催されるなど、洗練されたおしゃれな町として「ハイカラさんの町」と呼ばれていました。

※2 上海租界：1842年の南京条約により開港した上海に設定された租界(外国人居留置)



- ①②③④日本初のパブリックゴルフ場「雲仙ゴルフ場」
(近代化産業遺産認定)
⑤ 明治時代から欧米人との交流が盛んであった雲仙
⑥⑦ 今も昔も変わらない雲仙の様子

❖ 開湯にまつわる歴史 ❖

雲仙の開湯は701年(大宝元年)。奈良時代の名僧・行基によって、温泉山満明寺が建立されたことに始まります。

温泉地として開拓が始まったのは約350年前の江戸時代。幕末には吉田松陰が訪れ、シーボルトやケンペルらの著書によって、雲仙がヨーロッパにも紹介されたと伝えられています。



地獄めぐり 雲仙の観光名所

高温の噴気や熱水が噴出している箇所を間近に見ることができる散策道が整備されています。大小さまざまな30程度の地獄があり、それぞれに伝説が語られています。



観光としての温泉



八万地獄

人が持っている八万四千の煩悩によってなされた悪行の果てに落ちる地獄のことだと言われています。



清七地獄

キリシタンの清七という男が捕らえられ、処刑されましたが、そのころにこの地獄が噴出したと言われ、この名が付けられました。



雀地獄

地下から噴き出したガスが水中ではじけて、ピチピチと雀が鳴き騒いでいるような感じがするので、この名前になりました。

雲仙の観光名所

雲仙には「雲仙地獄」以外にも、ぜひとも訪れてほしい名所・史跡に溢れています。

奈良時代の名僧・行基が修行したと言われ

る「一切経の滝」。そして、1731年に開

湯し、温泉としては全国有数の歴史を誇る

「小地獄温泉」は、雲仙随一のにがり湯とし

ても有名です。小地獄温泉から一切経の滝

に向かう途中には、「三鈷の松」と呼ばれる

松の木があります。普通、松の尖った葉は二

本（もしくは五本）ですが、この松の葉は三

本。その昔、弘法大使・空海が修行の場所を

決めるため、密教の法具「三鈷杵」を中国から

日本に向かつて投げしてみると、高野山の松

の木に引つ掛かり、その松の葉が三本だった

ので三鈷の松と呼ばれるようになったとい

う逸話があります。その三鈷の松が雲仙に

あるのは、雲仙がかつて高野山と同じく修

行の山・霊山であり、高野山と交流があつた

からだと言われています。



歴史ある霊山にだけあるという三鈷の松



名僧・行基が一切経を書写し、この地に埋めたという伝説がある一切経の滝



日本で一番新しい山 平成新山

1990年(平成2年)に始まった普賢岳の噴火によって新しくできた頂は、1359mの普賢岳より高く、雲仙岳最高峰となり、1996年(平成8年)5月20日に「平成新山」と名付けられました。すっかり噴火活動もおさまった今、その雄大な溶岩ドームは日本で一番新しい山となり、雄大な景観を持つ雲仙岳の一部となっています。

登山人気

2012年5月9日、雲仙普賢岳の新たな登山道が開通しました。新登山道は普賢岳の噴火に伴い警戒区域に指定されていたルートを新たに整備したものです。平成新山山頂に400mまで近づくことができ、昨今の登山ブームもあり、新たな観光名所として人気になっています。

ACCESS



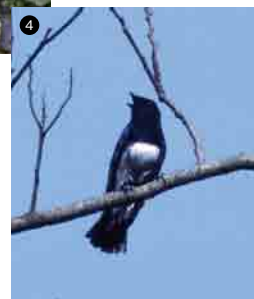
JR	博多(特急1時間30分)→諫早(バス80分)→雲仙
バス	福岡(高速バスで約1時間50分)→諫早(50分)→小浜(25分)→雲仙
バス	長崎(約1時間)→諫早(50分)→小浜(25分)→雲仙
バス	長崎(約1時間15分)→小浜(25分)→雲仙
バス	福岡(約2時間(高速道))→諫早(45分)→小浜(20分)→雲仙
バス	長崎(約1時間10分)→小浜(20分)→雲仙
バス	長崎港(熊本)→多比良港(バス35分)→島原(バス40分)→雲仙
バス	三池港(福岡)→島原港(バス40分)→雲仙
バス	熊本港(熊本)→島原港(バス40分)→雲仙

来年の国立公園指定80周年を記念してイベントも計画しております。自然・歴史を満喫でき、温泉で疲れを癒せる、雲仙への来仙を心よりお待ちしております。

平成新山に群生する植物



①天然記念物である原生沼に群生する「カキツバタ」②山地に生える落葉高木「ヤマボウシ」。秋には紅葉する③天然記念物の地獄地帯シロドウダン群落「シロドウダン」④日本三鳴鳥の一種「オオルリ」。鳴き声は「ピリーリー」





FILE No.2

九州の「地域ブランド」をご紹介します。



五島・平戸



「FFG食の商談会」出展産品

長崎伝統料理のかくし味

焼きあご

トビウオは亜熱帯から温帯の海に生息する海水魚で、日本近海を春と夏に北上し、秋には南下します。九州では長崎北部の平戸から五島の海にトビウオの大群が押し寄せます。

地元ではトビウオのことを「あご」と呼び、水揚げしたあごをすぐに炭火で焼きます。大海原を滑空するあごは運動量が多いため脂肪が少なく、高タンパク・高ミネラルでヘルシーフードとして、注目されています。

焼きあごは正月のお雑煮や五島うどんのだしに使われます。あごだし特有の上品でさっぱりした味は、ラーメンやおでんのだしとしても珍重されています。

加工製品も、本誌本号で紹介しているチョーコー醤油様など、長崎の醤油メーカーを中心に「粉末だし」「めんつゆ」「だしパック」などが製品化され、長崎ブランドとして全国的にも知られるようになりました。

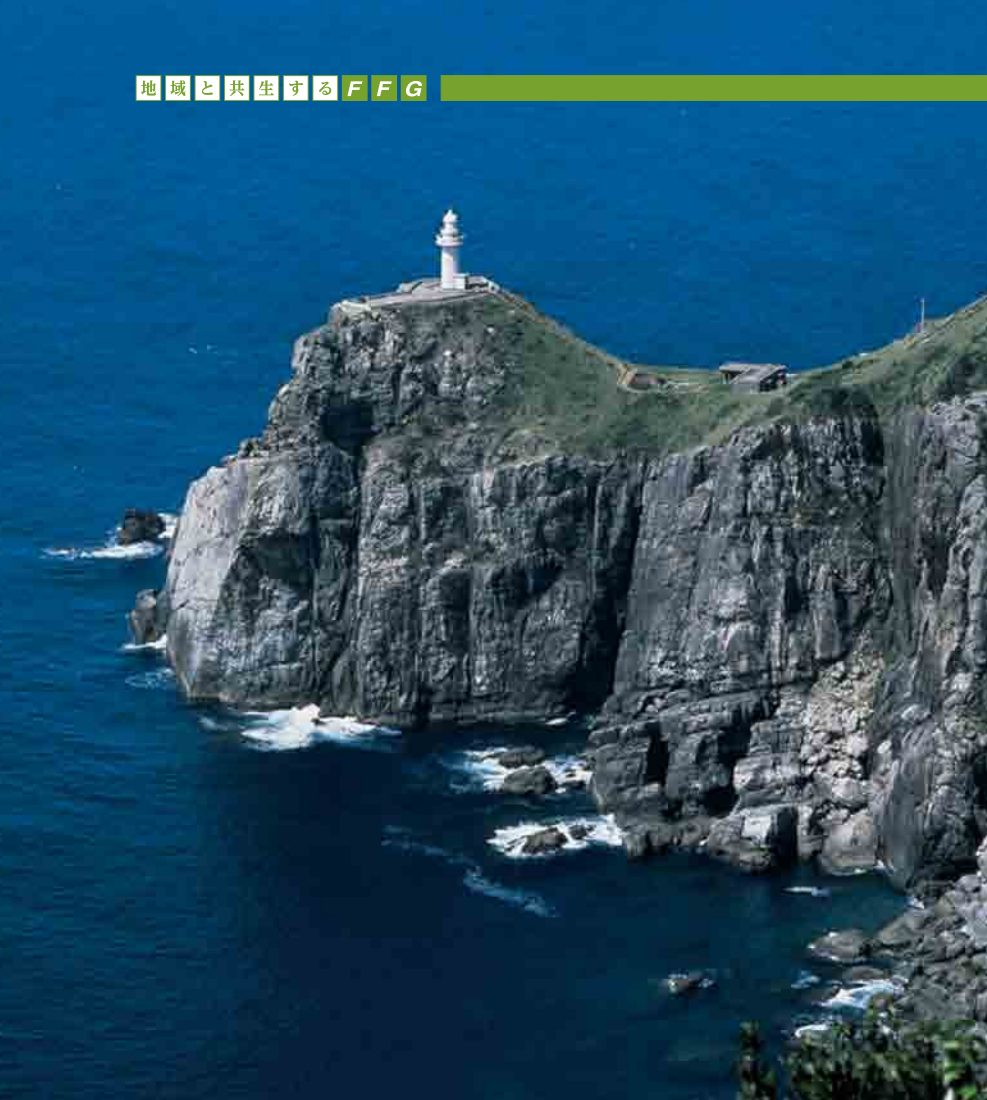


ようこそ、 癒しのしま五島へ

寄稿 五島市観光交流課

長崎県五島列島は、長崎市の西方沖、東シナ海に浮かぶ大小140余の島々で構成されています。このうち五島市（以下五島）は、五島列島の南部に位置する11の有人島と52の無人島から成り立っています。

本稿では、五島の魅力をご紹介します。



五島は九州の最西端に位置しています。そのため黒潮本流から分岐して北上する温暖な対馬暖流と列島付近に発生する沿岸流の影響を受け、日本でも有数の好漁場を形成しています。ブリをはじめ、サバ、イワシ、クエ、アオリイカなど、実に様々な種類の魚が豪快な荒波に揉まれて逞しく成長し、四季を通じて水揚げされており、まさに海の幸の宝庫です。

美味しい魚を 全国の食卓へ



水ノ浦教会

入り組んだ地形の湾を見下ろす丘の上に建つ白亜の教会。教会建築の匠・鉄川与助が設計施工したもので、その優美なたたずまいに魅了され多くの人々が訪れる。豊かな自然に抱かれた五島では、非日常へといざなう絶景や暮らしの中にある絵になる光景に出会うことができる



ACCESS

空路

- ✈ 長崎—五島(福江)【ORC】
所要時間:約30分
- ✈ 福岡—五島(福江)【ANA】
所要時間:約40分

海路

- ✴ 長崎—五島(福江)【九州商船】
●ジョットfoil 所要時間:約1時間25分
●フェリー 所要時間:約3時間10分
- ✴ 博多—五島(福江)【野母商船】
●フェリー太古 所要時間:約9時間

美食と絶景のしま

稲庭・讃岐と並ぶ、日本三大うどんのひとつ。椿油で練り上げた細麺はつるりとしたのどろしが特長



釣り人たちの聖地・男女群島など、温暖な対馬海流に育まれた五島は海の幸の宝庫

新鮮な魚から生まれる 極上のかまぼこ

五島では昔から美味しいかまぼこが作られてきました。水揚げされたばかりの、刺身にしてもいいほど新鮮な魚を使って作られるかまぼこは、ふりつとした食感でとても風味豊かです。

五島を代表するかまぼこが「あじ巻きかまぼこ」。五島産のアジのすり身に昆布を巻いたかまぼこで、お土産に喜ばれています。

五島ならではの旬の味覚

肥沃な大地と温暖な気候に恵まれた五島は、農産物にとっても最適な環境です。特に、サンゴ礁に囲まれて海の底に堆積した大昔の土を含む土壌は、ミネラルをたっぷり含んでいて、野菜を美味しくしてくれます。

この気候風土を活かして、五島ならではの野菜や果物が作られています。近年では、五島のブランド野菜も登場し、注目を集めています。その一つ「五島ルビー」は糖度7度以上で、まるでフルーツのように甘いトマトです。



高浜海水浴場

南国リゾートを思わせるコバルトブルーの海。「日本の渚百選」に選ばれ、「日本一美しい砂浜」と賞賛される



ツヤとコシは日本一。 比類なき絶品 手延うどん

五島といえば「五島手延うどん」と言われるほどに、全国的にもその名が広まりつつあります。冬場、乾いた北西の潮風が吹き付ける五島の気候は、手延うどんの製造に最適です。また、豊富にとれる椿油を使用して仕上げられる麺は細身でコシが強く、湯につけ過ぎてもものびないのが特徴です。モチモチとした歯ごたえと喉ごしの良さは格別です。

手つかずの大自然

豊かな自然のなかで四季を通して釣りやマリンスポーツなどが楽しめ、多くの釣り人や観光客で賑わいます。日本で一番美しいといわれる「高浜海水浴場」、釣り人のメッカとして有名な男女群島、雄大な景観が楽しめる大瀬崎灯台など魅力がいっぱいです。特に夏場は、九州本土はもちろん、東京・関西方面からも多くの観光客が訪れます。夏休み期間中は、地引網体験や、海底が見える大きなグラスボートの運航など、家族で楽しむことができます。

大自然からの贈り物

五島にはヤブツバキが多く自生し、古くから上質な椿油が生産されています。椿油には血液をさらさらにして、悪玉コレステロールを減らすオレイン酸が多く含まれています。また人の肌から出る脂肪分と非常に相性が良いことから、化粧品原料にも使われています。

五島にある製油所では、椿実の選別から搾油まで、昔ながらの方法で高級の椿油を生産しています。搾油方法は日本全国でも数少ない玉締め式（※1）で、商品には一番搾りの椿油の

みを使用しています。
（※1）玉締め式…蒸した椿実にゆっくりと圧力をかけて搾油する方式。

大瀬崎灯台

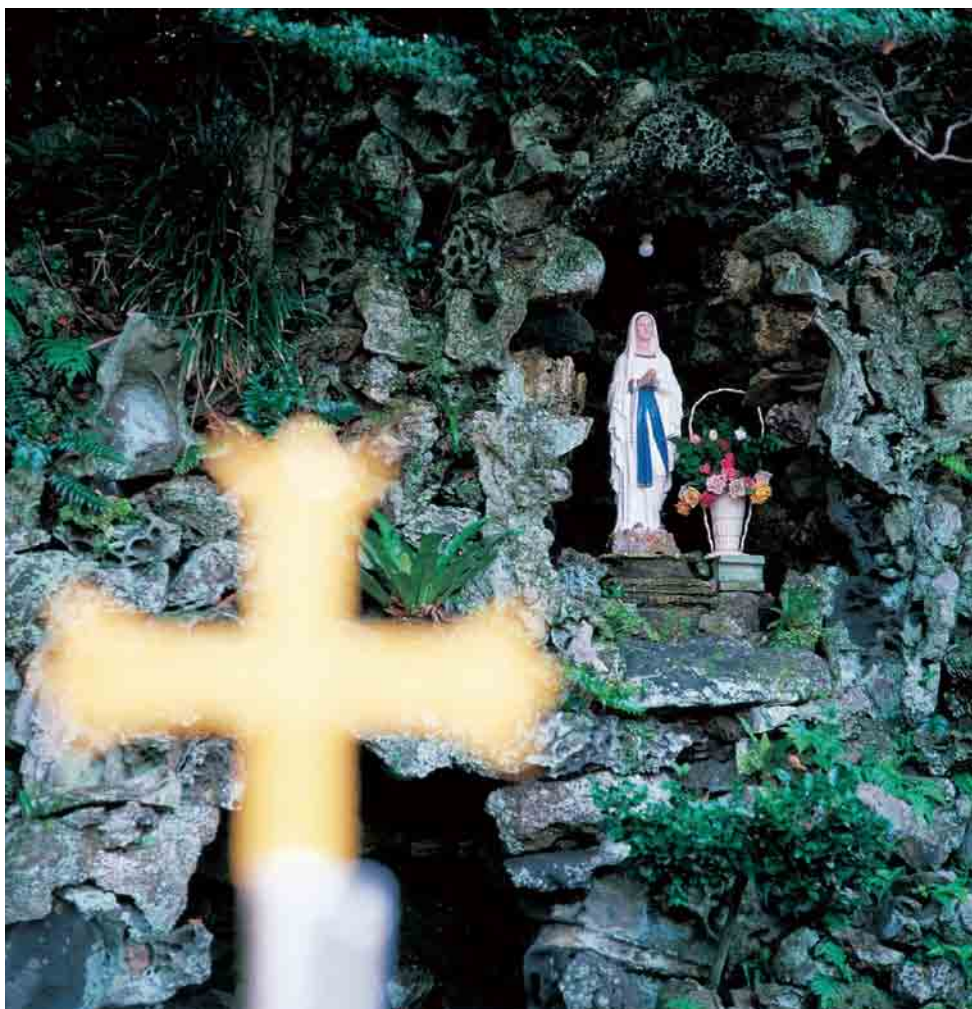
いつまでも沈まない夕陽に、辺り一帯が鮮やかなオレンジに染まる。その美しい情景は「日本の夕陽百選」に選出された

名花・玉之浦椿と椿油

五島は日本有数の椿の島。その美しさから世界的にも有名になった玉之浦椿をはじめ約50種が五島で確認されている。いたるところでヤブツバキの群生を見ることができたのが近年その数は減少しつつある



祈りのしま



日本初のルルド 井持浦教会

ルルドとはフランス南西部にあるカトリックの聖なる泉のこと。井持浦教会は明治初期の弾圧から逃れた奇跡の地として、フランスのルルドを模した洞窟が創設された

100年に一度の 秘仏特別御開帳



▲格天井に描かれた
花鳥図



▲明星院本堂

藩主五島家代々の祈願寺である明星院は五島最古の木造建築物で、その名は空海により命名されたと伝えられています。格天井に描かれた、五島藩絵師で狩野派の大坪玄能の筆による121枚の極彩色の花鳥画も見事。2013年は秘仏・虚空蔵菩薩が特別ご開帳されています。

※特別拝観期間12月31日まで

五島の歴史は古く、奈良・平安時代には遣唐使船最後の寄港地として知られ、万葉集にも歌われています。弘法大師空海ゆかりの地でもあり、西の高野山と呼ばれる「大宝寺」、空海が名付けたと伝えられる「明星院」など多くの足跡が残されています。

歴史と文化が 息づく島



◎目黒雄一 ②

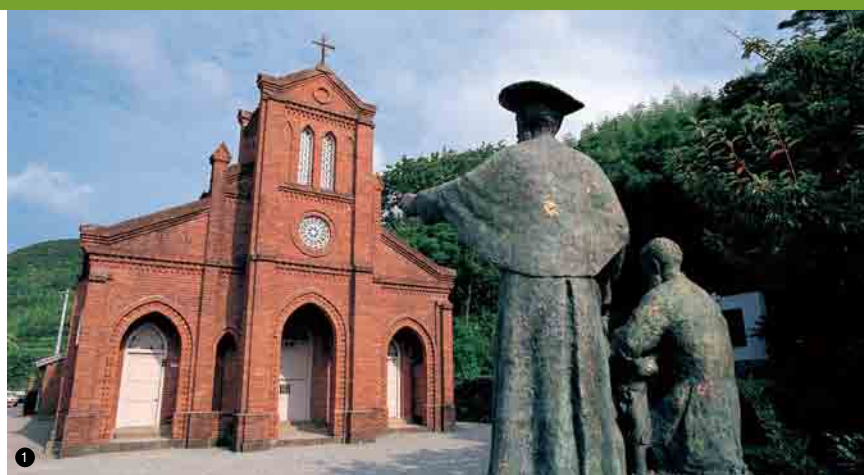


◎目黒雄一 ④



③

①五島宣教の拠点となった堂崎教会 ②④白壁とブルーの窓が愛らしい江上天主堂 ③井持浦教会



長崎県下には、日本のカトリック教会の13%余りを占める130以上の教会があり、そのうち五島には50余り(※2)が集中しています。これはキリシタン禁制下の江戸時代、五島に多くの潜伏キリシタンが暮らしていたことに由来します。信徒たちは弾圧されながらも信仰を守り抜き、1873年(明治6年)に禁教令が解けると、自らの手で集落に教会を建てました。五島

世界遺産登録を目指す島の教会

の素朴な風土とキリシタンの歴史を物語る多くの古いカトリック教会は、五島ならではの風情を感じさせてくれます。

2007年(平成19年)1月、五島に建つ「旧五輪教会堂」、「江上天主堂」の2つの教会を含む「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」は、ユネスコの世界遺産暫定リストに登録されました。現在、長崎県をはじめ、関係市町村と力をあわせ、「世界遺産」登録を目指しています。

(※2)五島市を含む、五島列島全体の教会数。

福江城(石田城)と武家屋敷通り

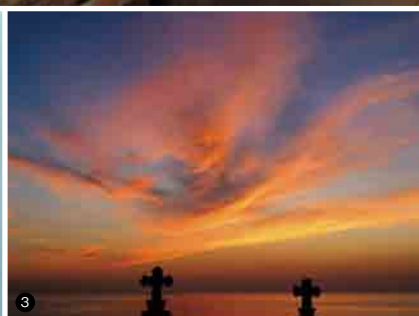
第30代藩主・五島盛成公時、外国からの脅威に備えるために、江戸時代最後に築城された城。城は当時は三方海に囲まれた海城だった



空海記念碑 辞本涯

遣唐使日本最後の寄港地であった五島柏崎は、命をかけて中国へわたった遣唐使が自国に別れを告げた場所。空海の名文「辞本涯」にちなみこの名が付けられた





独自に発展した教会文化

①貝津教会のステンドグラス。時間によって差し込む日差しが祈りの空間をより神秘的にさせる ②堂崎教会の隠れマリア像。辛く苦しい弾圧の時代も人々は信じる心だけは忘れなかった。そのため、マリア観音や隠れマリア像など祈りをささげる像にも当時の人々の工夫が施された ③海に面した草原の一部にひっそりと佇む、淵ノ元カトリック墓碑群。夕陽の美しいビュースポットでもある

礼拝のマナー

- ミサや教会行事中は信者の妨げにならないようにしましょう
- 葬儀など特別な儀式の場合は拝観をご遠慮ください
- 土足厳禁の教会では靴は下駄箱へ入れましょう
- 教会の中に入るときは脱帽し、静かにしましょう
- 服装は祈りの場にふさわしいものを着用しましょう
- 私語はつつしみ、携帯電話をマナーモードにしておきましょう
- 教会内外の聖具、装飾物には手を触れないようにしましょう
- 内陣には入らないでください
- 飲食や喫煙はご遠慮ください
- 原則として、教会内の撮影はできません
- ごみは各自持ち帰りましょう

EV(電気自動車)で 観光&教会めぐり



五島の観光に欠かせない教会めぐり。島ではハイブリッドEV車をいち早く導入して、環境にやさしいエコツーリズムを提唱しています。

島内にはEVの充電スポットも充実



奇祭のしま

◀ヘトマト

ススだらけの男衆が担いだ大きな草履を神社へと奉納する。途中、未婚女性を乗せて胸上げを行いながら進む不思議な光景に出会える



オーモンデー(三井楽町)▶

遣唐使末期、中国大陸より伝わったとされる嵯峨島に伝わるお盆の念仏踊りの一種。エキゾチックな民族衣装に身を包み、鐘と太鼓の音に併せて舞う姿も中央アジア風の手振りなどが見受けられる



▲五島椿まつり

椿の自生地として知られる五島の冬の魅力を十分に満喫できるお祭り。福江城やその周辺の武家屋敷通りでは「しまのかがり火」と称して城のライトアップや1000個もの灯籠が灯される

五島に伝わる 一風変わったお祭り

五島には、国の重要無形民俗文化財に指定されている「ヘトマト」というお祭りがあります(毎年1月第3日曜日開催)。大漁豊作と無病息災を一度に祈願するお祭りです。

身体に「ヘグラ」と呼ばれるススを塗りつけた若者が薬玉を奪い合う「玉せせり」や、豊作と大漁を占う「綱引き」、「相撲」、「羽根つき」、「玉蹴り」が行われ、最後に3メートルの「大草履」が登場し、若者が担いで山城神社へ奉納します。「大草履」奉納までの道中では、沿道の女性を捕まえてはその上に乗せ、何度も胸上げを行います。由来についての定説はありませんが、諸々の行事を一度に行う、全国でも極めて珍しいお祭りです。

ぜひ来てね!



ごとりん



つばきねこ



バラモンちゃん

五島市イメージキャラクター

終わりに

大自然とともに歴史と文化が息づく島、五島。青い海に囲まれ、豊かな自然に恵まれた「しま」では時間がゆっくり流れます。癒しのしま五島で、皆様のお越しを心からお待ちしております。